

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 見立作成日: 平成 29 年 9 月 11 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	在職期間の長いベテラン職員がいるので、今更理念の唱和を実践することが難しく、若手の新人職員には、理念の理解が出来ておらず、ホームの方針を改めて検討し、理念や目標を職員間で作り、日々の介護に役立てる工夫をしていく。	毎週一度は理念を職員間で唱和し、理念の意義や目標を職員に理解してもらい、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいく。また、職員間で理念が日々の介護に活かされているかを振り返り、利用者が生き生きと暮らせるグループホームを目指していく。	6ヶ月
2	11	運営に関する職員意見の反映	毎日の申し送りは口頭で行っているが、重要なこと以外は記録していないので、職員の意見が反映される職員会議を毎月定期的開催していくことを検討していく。	職員会議を毎月定期開催し、早めに職員に日時を知らせ、全員が参加出来るよう取り組み、職員の意見や要望、アイデア等が活発に提案され、ホーム運営や業務改善に反映される職員会議を開催していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。